

経営計画とイノベーション

Development of management plan and Innovation

中小企業診断コース関連科目

担当教員	浅見哲也（専任） 石井宏宗（専任） 清水弘（専任） 小林克（専任）	単位数	2単位
開講学期	夏学期	開講曜日・時限	授業スケジュール参照 授業スケジュール参照
位置づけ	応用段階		
区分	中小企業経営コース コース基本科目		

科目紹介	
科目の重要性・必要性	今日の経営では、イノベーションの視点で経営戦略などを検討することが技術経営に限らず重要なことになっている。加えて、製造業においては製品開発戦略や知的財産戦略に活かすことも求められている。更に、これらの視点を経営計画レベルまで落とし込んでいくことも求められている。
科目の目的	技術経営におけるイノベーションの考え方を学び、それを経営戦略立案や経営計画策定に活かせるように、その基本を学ぶ。特に、製造業における製品開発戦略、知的財産戦略についてもイノベーションの視点で考えることができるようにする。加えて、経営計画立案に際して既存統計を活用することも多いので、その見方と活用ができるようになることも目指す。
到達目標	<ol style="list-style-type: none">1. 技術経営におけるイノベーションについて理解するとともに、実際の経営戦略・経営計画立案に活かすことができるようになること。2. 知的財産戦略についての基礎の修得3. 経営支援をする立場からの新規事業に係る経営計画の立案方法の修得4. 製品開発戦略の立案方法の修得5. 公的統計の見方・活用の仕方の修得

受講してもらいたい院生	中堅・中小企業の経営のコンサルタントを目指す院生。
-------------	---------------------------

授業計画		
第1回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：技術とイノベーションについて自分なりに定義してみる。 「技術で勝ってビジネスで負けた」の例を考えて見る。 復習：授業で紹介した価値創出と組織経営を自分なりに体系化して記述してみる。
	授業内容	技術経営を理解するコンサルタント（清水） 技術経営とは。技術とはイノベーションとは何か。日本企業でよく言われる「技術で勝ってビジネスで負けたとは」。そして技術経営として組織経営と価値創出の全体像を説明する。加えて、技術経営として重視すべき経営理論について紹介する。（両利きの経営、市場と技術のマッチング、技術リストと技術ポートフォリオ）
	授業課題	有
第2回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：企業や事業（部署・チームでも）を経営するために考慮すべき要素を考えて見る。 復習：組織経営のSPROを自分の知っている組織に適用し現状を記述してみる。
	授業内容	中小企業の特徴と組織経営（清水） 戦略・プロセス・組織・経営資源の組織経営の枠組み （SPRO：Strategy/Process/Resource/Organization）と中小企業の状況を把握し、その状況にあった処方支援するための考え方を説明する。
	授業課題	無

第3回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	<p>予習：第一回、第二回の講義キーワードの再確認（技術とは何か、技術経営、価値創出等）</p> <p>復習：本授業で説明する二つのトピックスを参照し自身の事業をモチーフに分析する。本科目の目的である経営計画、製品開発(計画)の作成と関連付けて分析することが望ましい。</p>
	授業内容	<p>技術の構造的な理解（浅見）</p> <p>MOTで技術を応用した製品やサービスにより企業成長や持続性を高める手法について体系的に学ぶ中、「技術とは何か」をフォーカスします。「技術」についての理解を深めるために2つのトピックスを説明します。</p> <p>(1)4つの要求段階（顧客欲求・機能要求・設計要求・製造要求。曖昧な顧客欲求から物理的な機能を定義する）</p> <p>(2)デザインストラクチャ（製品のモジュール分離分析、全体機能価値へ強く影響を及ぼす部分モジュールの抽出）</p>
	授業課題	無

第4回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：日頃の組織活動において、組織の成果を最大化するためにどのような工夫をしていますか？（事前レポート等の提出は不要です） 復習：自身の所属する組織において、共感度を高め集団成果を最大化するための方法について考察する。第一回講義で説明された組織経営と関連付けて分析することが望ましい。
	授業内容	<p>企業倫理と職業倫理の重要性（浅見）</p> <p>企業行動は投資家、消費者などのステークホルダーに大きな影響を与えます。倫理観の欠如した企業行動は社会や環境や従業員に甚大な被害を与えることがあります。故、企業倫理、職業倫理を理解することは重要です。</p> <p>初めに、企業倫理、職業倫理の重要性について触れます。そして、倫理学の伝統的なテーマである最高善、中庸、責任の連続性について説明します。倫理学のFundamentalな立場を知ることにより企業倫理、職業倫理の意味や価値が腑に落ちやすくなります。</p> <p>そして、企業や社会が直面する課題とその課題解決に向けたテクノロジーとの関係について考えます。また、倫理学のレンズから見える経営手法として「共感力」をモチーフに組織の成果を最大化する方法、集団戦闘力を最大化する方法について紹介します。</p>
	授業課題	無
第5回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	中小製造業における新製品開発について、自社または取引先などの「事例」をメモにまとめて講義に臨むこと。
	授業内容	<p>「なぜ新製品開発が必要なのか」（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フレームワークからみる新製品の必然性 ・ 講義概要 ・ 講師紹介
	授業課題	無

第6回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	イノベーションに繋がるアイデア創出について、自社または取引先などの「事例」をメモにまとめて講義に臨むこと。
	授業内容	「イノベーションの源泉としてアイデアをいかに生み出すか」（石井） <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションの概観 ・イノベーションの源泉となるアイデア創出のプロセス ・アイデア創出から新製品を実現した事例
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第7回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	新製品をいかに事業化するか、そのプロセスについて、自社または取引先などの「事例」をメモにまとめて講義に臨むこと。
	授業内容	「新製品の事業計画を策定する」（石井） <ul style="list-style-type: none"> ・クロスSWOTからの事業戦略 ・必要な経営資源の抽出 ・事業化のための計画策定
	授業課題	無
第8回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	新製品事業の評価方法について、自社または取引先などの「事例」をメモにまとめて講義に臨むこと。
	授業内容	「その新製品は利益を生み出すか」（石井） <ul style="list-style-type: none"> ・新製品事業計画の見積損益計算書作成と評価（ワークショップ） ・新製品事業評価の発表
	授業課題	無

第9回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：経営計画が求められる場面と計画書の種類について想定して くること。 復習：経営計画作成ニーズと計画作成に向けた体系を整理すること。
	授業内容	経営計画の策定①（小林） 経営計画書の全体像と位置づけについて
	授業課題	無
第10回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：外部環境分析、内部環境分析の方法について復習して くること。 復習：ビジョンの作成と内部環境分析、外部環境分析の方法を整理 すること。
	授業内容	経営計画の策定②（小林） 計画作成の事前段階に必要となるビジョンおよび内外環境の整理
	授業課題	無
第11回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：財務分析の指標について復習して くること。 復習：計画策定に向けた財務分析のポイントについて整理 すること。
	授業内容	経営計画の策定③（小林） 経営計画作成における財務状況の整理
	授業課題	無
第12回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：経営計画作成に向けた体系を復習して くること。 復習：経営戦略の立案について整理 すること。
	授業内容	経営計画の策定④（小林） 経営戦略の立案と計画への落とし込み
	授業課題	無

第13回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：講義で触れた経営計画作成までの流れを理解しておくこと。 復習：立案した経営計画を見直すこと。
	授業内容	事例をもとにした経営計画の立案①（小林） 事例をもとにして戦略を立案し計画を作成する
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第14回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：立案した経営計画を見直しておくこと。 復習：経営計画作成における全体像を整理すること。
	授業内容	事例をもとに経営計画の立案②（小林） 各自立案した事業計画を評価する
	授業課題	無
第15回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：講義で触れた経営計画作成までの流れを理解しておくこと。 復習：立案した経営数値計画を見直すこと。
	授業内容	事例をもとにした中期経営数値計画の立案①（小林） 事例をもとにして経営数値計画を作成する
	授業課題	無
第16回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	予習：講義で触れた経営計画作成までの流れを理解しておくこと。 復習：立案した経営数値計画を見直すこと。
	授業内容	事例をもとにした中期経営数値計画の立案②（小林） 事例をもとにして経営数値計画を作成する
	授業課題	無

授業情報	
授業方法	講義とグループでの検討・作業を交えて行う。
テキスト	教材のプリントを配布する。
参考図書	授業の中で適時指示する。

評価方法		
評価の視点	評価 ウェイト	備考
授業参画度	63%	授業中の積極的な発言とその内容、演習の際の的確な指摘や考え方の整理・発想など [1回～2回]13% [3回～4回]13% [5回～8回]13% [9回～16回]24%
課題レポートの内容と発表する場合はそのプレゼンテーション力等	37%	[5回～8回]12% [9回～16回]25%
合計	100%	

受講生へ (授業科目のアピールポイント、必要な基礎となる科目の履修や知識・スキル)
<p>経営戦略を策定後、それを基に具体的な計画を策定する必要がある。その場合、数字で将来予測をする必要があるため、その方法についても修得してもらいたい。更に、経営を取り巻く環境変化の激しさを踏まえると、そこにイノベーションの視点を組み込む必要がある。イノベーションについても基本の修得だけでなく、実際の経営戦略の中に活かすようになってほしい。</p>